

北九州ブロック
筑後ブロック
福岡ブロック
スパーザレクレーション大会
ご寄付金頂いた皆様
ありがとうございます!!
・牧村 桂子 様 ・鹿野 陽子 様
・今尾 千秋 様 ・あかつき会家族会 様

令和3年10月8日(金)
令和3年9月15日(水)
場所・サンサンプラザ
ボッチャ
山登り

北九州ブロック
筑後ブロック
福岡ブロック
スパーザレクレーション大会
ご寄付金頂いた皆様
ありがとうございます!!
・牧村 桂子 様 ・鹿野 陽子 様
・今尾 千秋 様 ・あかつき会家族会 様

令和3年10月8日(金)

令和3年9月15日(水)

場所・サンサンプラザ
ボッチャ
山登り

よからぼの活動にご協力ください!!
サポートを必要としている沢山の方々にサービスを届けていけるように私たちの活動にご理解、ご賛同頂ける皆様、是非いろいろなかたちで応援よろしくお願いします

ご寄付金頂いた皆様

ありがとうございます!!
・牧村 桂子 様 ・鹿野 陽子 様
・今尾 千秋 様 ・あかつき会家族会 様

映画「夜明け前のうつ」
5月福岡市内で公開されました。50年代に日本本土で廃止された精神障がい者を隔離する「私宅監置」。その後も沖縄では72年まで行われ続ける。閉じ込められ、存在を消された人々を収めた写真を手がかりに関係者、親類、そしてその歴史背景を追っていくドキュメンタリーフィルム。

かつて日本では、家族の中に精神疾患を発症した人が現れると、自宅の敷地内に「座敷牢」を設け、閉じ込められることが合法的に認められていた。監禁環境は当時の家庭よりも酷い環境だったそう。座敷牢の中に入る様子の写真も多く映し出され、観ていていたまもなく、苦しくなった。

社会、家族からも存在を抹殺する、しかもそれが社会的に制度化されていたという現実。この罪は何年経っても消えるわけではありません。障害のある人々を隔離しきるだろう。今作は「人間の尊厳」について考えさせられる映画であり多くの人に見て考えてほしい。

そして、今作の監督原氏を福精連大会へお招きし、お話を聞く予定です。詳細につきましてはプログラムが出来次第ご案内いたします。

福精連大会のご案内
開催日・令和3年9月15日(水)午後
会場・春日市クローバープラザ
講演・ジャーナリスト 原 義和 氏
映画「夜明け前のうた」消された沖縄の障害者の監督

あかつき会家族会 会長 末安 良光

あかつき会家族会 会長 末安 良光

昭和57年2月に、当時の門司(かもめ会)、小倉(わらび会)、戸畠(とびはた会)の他に八幡と若松の家族会を統一して「北九州精神障害者家族会連合会(通称・あかつき会)」が発足。昭和63年には、家族会運動拡大と発展のために、市内の個別の家族会が加入する連合会組織としての「北九州精神障害者家族会連合会(通称・あかつき会)」に改編。平成16年には、家族会主導で設立してきた作業所を独立させ社会福祉法人あかつき会を発足。また、平成18年に「北九州精神障がい者家族会連合会(通称・あかつき会家族会)」として北九州市内で独立した3つの地区家族会(みどりの会、あやめ会、おあしす会)に再編成。それから約15年が経過した今年4月から、3つの地区家族会を支部として位置づけて一つの家族会に統合し、「あかつき会家族会(旧称・北九州精神障がい者家族会連合会)」として新たな体制で始動することになりました。

家族会の原点である支え合い学び合う家族同士の交流の場である例会や会員同士が気楽に集うサークルやサロン、会員からの相談事への対応、家族による家族学習会を通じての家族支援などの活動はしっかりと継続しつつ、家族会を取り巻く社会環境の変化、会員の高齢化や役員等の担い手不足などに対応した家族会の活性化に取り組んでいます。また、福精連の他の家族会との交流を通じて家族会を発展させていきたいと思っています。



6月16日みんなねつと総会がZOOMにて開催されました。
第1号議案 令和2年度事業活動報告
(案) 第2号議案 令和2年度事業活動報告
第3号議案 令和3年度事業計画
第4号議案 令和3年度予算
第5号議案 諸規定変更
報告事項 ①全国大会
令和3年10月7~8日オンラインと東京会場との併用
※8日の分科会は会場のみとなります。
会場との併用

誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療への期待を込めて
1.市民のメンタルヘルスケアの充実
(1)正しい精神疾患に関する系統的な教育の実施
(2)相談窓口の整備
(3)意思決定支援の充実、インフォームドコンセントの徹底、更には共同意決定の実現
(2)精神医療審査会の人権擁護機能の充実
(1)人員配置の基準と診療報酬を一般診療科と同等にする
3.薬物医療とともに心理社会的支援が当たり前に受けられる方向への転換
(1)本人・家族のもとに届けられる多職種チームによる訪問型支援・治療サービスの充実

以上の事柄を多くの方に知ってもらいたく発信しています。

それを受け赤羽大臣が省内各局に対し「眞の共生社会実現に向けた新たなバリアフリーの取組」について指示されました。その取組み4項目の内容④に精神障害者割引の導入促進があげられており、具体的な方向性や目標等を早期に定め、その実現に向けた検討等を開始することと明記されています。(国土交通省HPより) 交通運賃割引実現に向け福精連としても引き続き要望していくたいと思います。(8月JR、運輸局へ要望書提出予定)

通所プログラム活動

活動内容は、それぞれの目標に沿って支援を行います。

①サブカルチャーデザイングループ
講師のデザイナーさんとスタッフが入り、みんなの目標を応援! デザインは、手書き・パソコン等で自分が出来る、やってみたい事を中心に行います。

②アクリル画を創るグループ
お手本を見ながら、下書きをした後、アクリルマーカーで色付けを行っていきます。

③完成した作品を販売するグループ
※作業で制作したものは、販売し工賃としてお渡しします。
※個別でのプログラム対応も行っています。



現在就労継続支援B型事業所開設に向け準備中。通所活動をより深化させたサブカル活動も行っていきます。動画配信やアニメーション作成も計画中

よからぼ

よからぼでは、通所支援プログラムと訪問支援で生活上の困りごとを、スタッフと一緒に考え、自分らしく地域で生活していくための支援を行っていきます。当事者本人だけでなくご家族の方の相談もお受けしています。通所プログラムでは新たにサブカル(左記参照)も始まります。

開所予定の就労支援B型ではそれぞれの作業スキルや本人の意向を尊重しゆるやかな作業を中心に居場所を提供できるようにと考えています。

お気軽に見学、ご相談ください。

092-409-3189

訪問支援

訪問の生活訓練は、通所が難しい方への訪問を行い、生活プランを計画し、日中支援を行います。家族の方ともお話をさせていただき、当事者本人だけでなく、家族全員での支援を行っていきます。

みんなねつと総会(ZOOM)